

神奈川県循環型社会づくり計画改定素案に対する意見と対応

＜令和5年8月29日開催 第77回環境審議会＞

No	委員	項目	意見等	対応
1	鈴木 会長	Ⅳ 計 画目標	産業廃棄物の排出量について、19ページに過去のトレンドと将来部分が破線で書かれているが、将来推計についてやはり何とかならないのかという気がする。最終処分量を減らすということで問題ないのかもしれないが増加していくことが気持ち悪い印象。国の方も増える見通しということで最終的にはこのようになるのかもしれないが、もう一度分析した方がいいと思う。	産業廃棄物の排出量の増減は、経済活動の状況に影響を受けるため、将来推計においては業種ごとに関連する経済指標を用いて予測を行っています。その結果、排出量全体の約4割を占める電気・ガス・水道業においては、人口減少に伴い排出量も減少しますが、全体の約3割を占める建設業及び約2割を占める製造業においては、それぞれ経済指標の数値が増加すると見込まれることから、排出量は増加すると予測しています。電気・ガス・水道業の減少分を建設業及び製造業における増加分が上回り、全体に大きく影響することから、産業廃棄物の排出量は2019（令和元）年度に対して2030（令和12）年度において1.8%増加する予測となっています。
2	片桐 委員	Ⅴ 施 策事業 体系	P21「海洋プラスチック問題を解決し」と大きくまとめているが、マイクロプラスチックは世界的な課題であり、もう少し生活に関わっているということを含めて記載できないか。	御意見を踏まえ、マイクロプラスチックに関するコラムを追加しました。（改定計画案P.32）